

事例
研究

高齢者の活躍が 企業の未来を切り拓く



少子高齢化に伴う労働人口の減少は、人材不足を招く大きな問題となっています。本紙では、高齢者の積極的な採用により、問題解決に向けて取り組まれている企業をご紹介します。

定年退職後、プレッシャーを全く感じなくなるとダメになる。と思った！

「この年齢でも必要とされていると感じられる仕事です！」と仰る関根直和さん(72歳)にお話を伺った。関根さんは自動車販売会社を65歳で定年を迎え、その後2年間は同じ会社で勤務を続け、67歳で退職。3か月ほどゆっくりしていたが、当時はコロナウィルスが猛威を振るっている状況で何処にも行けず、社会との繋がりもなくなり、なんのプレッシャーも感じない生活を送るとダメになると思った。そこで、自宅に近いところで仕事を探そうとネットで調べてみると、何をしているところか知らなかったが、ここで送迎の仕事があることを知り、福祉の経験はなかったが、運転業務ならと入职したのだそう。勤務は1日7.5時間の週5日、利用者の方々の朝夕の送迎や車両管理、敷地内の環境整備などが主な業務。「障害のある方は自分で自分の身を守れないことも多いので、1運行ごとに車内を丁寧に消毒して、安全運転プラス安全空間を提供することを心がけている。車両に乗車する利用者は児童から大人までいるが、“ありがとう”など労いの言葉をかけてもらおうと、自分も必要とされていると思う。仕事をするとすることは、必要と

障害のある方が地域の中で活動し生活することを目的として、利用者一人ひとりの自主性、主体性を尊重し、豊かな生活の広がりをめざしながら支援いたします。

社会福祉法人 響会「そら篠路館」

されているかどうかなのかもしれない。自分がしている仕事を子どもたちが見ているんです。だから手抜きは出来ないんです。」と話してくれた。

利他の心と観察力が 必要なのです！

響会は北区篠路に二つの事業所を持つ社会福祉法人で、今回取材に伺ったのは、多機能型といわれる《そら篠路館》である。多機能型とは、利用者が自立した生活を営めるよう、入浴、排せつ、食事の介護や創作活動・生産活動の場を提供する『生活介護』、個別・小集団などの療育、その他自己実現や自己肯定感に繋がる児童と就学年齢の方の支援を行う『児童発達支援・放課後デイサービス』など、障害福祉サービス受給者証・通所支援受給者証をお持ちの方が利用できる複合施設である。通所利用やショートステイなどを含め40名～50名がこの施設を利用しており、運営する職員は30名。そのうちシニアの方は6名が活躍されている。

「この仕事は、マニュアル通りの仕事とはいかず、利用者一人ひとり違う支援が必要なことと、一人ひとりの個性を引き出すことも必要で、利他の心で接することや観察力と



社会福祉法人 響会
多機能型事業所
「そら篠路館」



送迎車輛を
丁寧に消毒する関根さん
清潔な環境を維持することも
重要な業務。
趣味は山登りとスポーツクラブ
などで体を動かすこと。

法人概要 【法人名】社会福祉法人 響会 「そら篠路館」
【設立年月日】2002年8月2日
【所在地】札幌市北区篠路2条8丁目1番3号
【電話番号】011-776-0111

【HP/URL】<http://sorashinorokan.hibikikai.or.jp/>
【代表者名】理事長 小林 洋文
【事業内容】生活介護／短期入所／児童発達支援・
放課後デイサービス／相談支援・障害児相談支援

【従業員数】30名(社会福祉法人 響会 全体では64名)
【事業所数】「そら篠路館」と「草笛館」の2か所

いうものが非常に重要。DX化やAI（エーアイ）には頼れず、人のぬくもりが大切なのです。がゆえに、人生経験豊富でコミュニケーション能力が高いシニア世代の方の存在が日々の運営には必要なのです。」「関根さんの送迎業務も運転だけではなく、寛容力があって、AI（エーアイ）ではなく、AI（愛）の気持ちで利用者に接してくれる。このような職員や利用者に囲まれて、私も幸せを感じるのです。」と所長の渡邊早希さんは言う。

取材中に利用者の方々がどう過ごされているのかを見学させていただいた。ちょうど創作活動や運動の時間で、驚いたのは、いつまでも眺めていたくなるような立体的で緻密な作品を作っている姿、一生懸命運動している表情がとても和やかな様子であり、加えて、職員の方々の視線がとても温かく、家族を見守るような印象を受けた。もしかしたら、支援する職員のほうが、利用者から与えられる幸福感もあるのかもしれない。「そら篠路館」のような事業（施設）は、働く側自身の心を豊かにできる“やりがい”のある仕事ではないだろうか。



「季節やイベントに合わせた温かみのある創作品が壁などに展示されている」



所長の渡邊早希さんと関根直和さん（72歳）
「安全に利用者の送迎をしてくださっている」

社労士からひとこと！



社会保険労務士・
キャリアコンサルタント
産業カウンセラー

小嶋 亜希子 さん

シニアの方の「愛（AI）」で、AIを上回るサービスを！

シニアの方に働く理由を尋ねると、最も多い理由は「収入を得る為」なのですが、次いで多いのが「生きがい・社会参加のため」といった回答になっています。また「今までの経験を活かしたい」という声も多々あります。

シニアの方は経験値が豊富ですから、マニュアル以外の対応能力も優れているのではないのでしょうか？そして社会に貢献した

いという思いも強いのですから、貴重な人材なのだと思います。

最近は様々な現場にAIが入ってきていますが、AIでは対応できない「愛（AI）」が必要な仕事もあります。

シニアの皆さん、経験値を活かして「愛（AI）」の気持ちで仕事にチャレンジなさってみてはいかがでしょうか？

シニアの方の就職および求人募集は【就サポ】へ！

お申し込み・お問い合わせ

札幌で就活なら
就サポ 札幌市就業
サポートセンター

《受付時間》平日8:45～17:00（土・日・祝日・年末年始除く）

就サポサービス情報サイト <https://saposen.co.jp>

札幌市就業サポートセンターは、札幌市が委託する民間職業紹介事業者とハローワークが共同で無料の職業紹介サービスを行っている全国で唯一の官民共同窓口です。職業紹介やカウンセリング、セミナーなどを組み合わせた多様な就労支援サービスを提供しております。

《求職者向け》シニアの方の雇用の求職のお問い合わせ

011-708-8321

《企業向け》シニアの方の雇用の求人募集のお問い合わせ

011-708-7865



札幌市北区北24条西5丁目 札幌サンパザ1階 地下鉄南北線「北24条駅」1番出口より徒歩3分



就サポHP



さっぽろ市
02-H01-25-2379
R7-2-1576